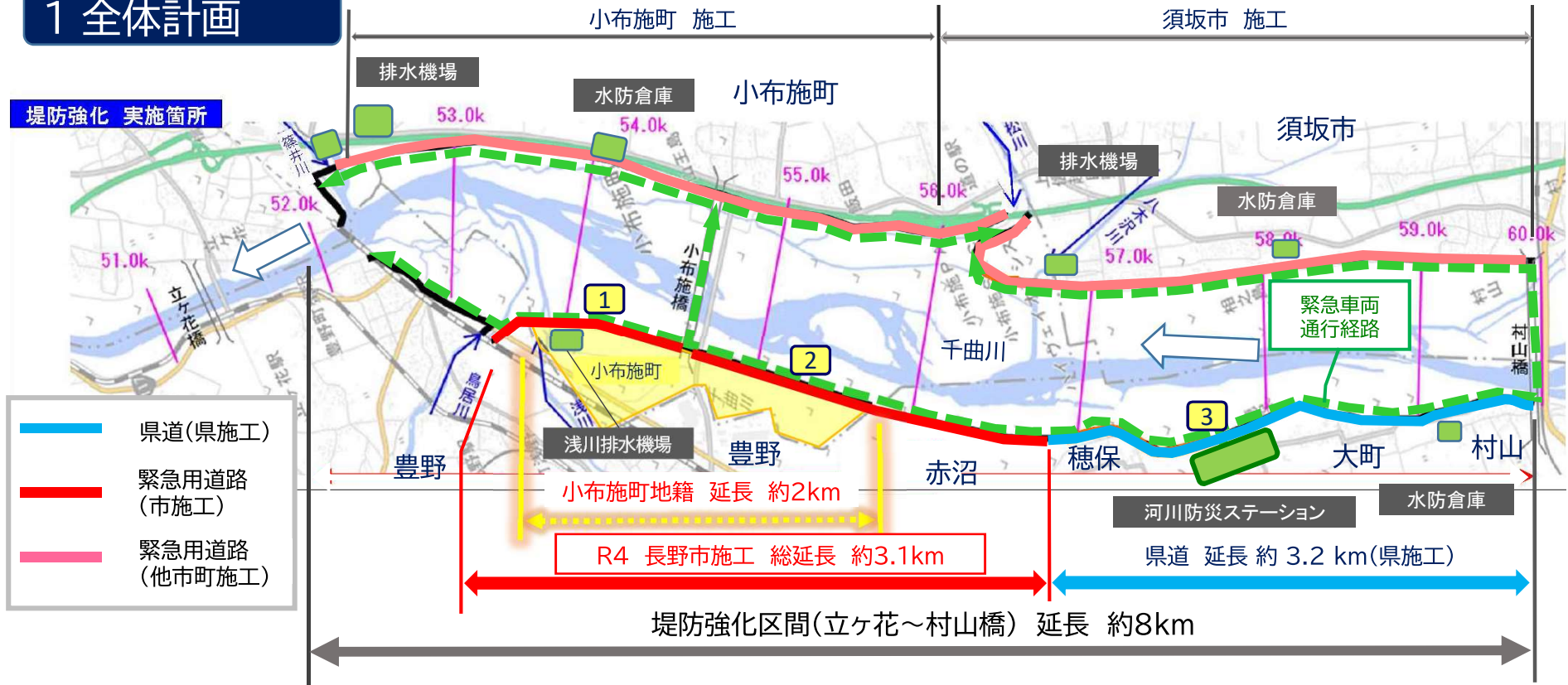


# 千曲川左岸堤防における緊急用道路の整備について



建設部 河川課

## 1 全体計画



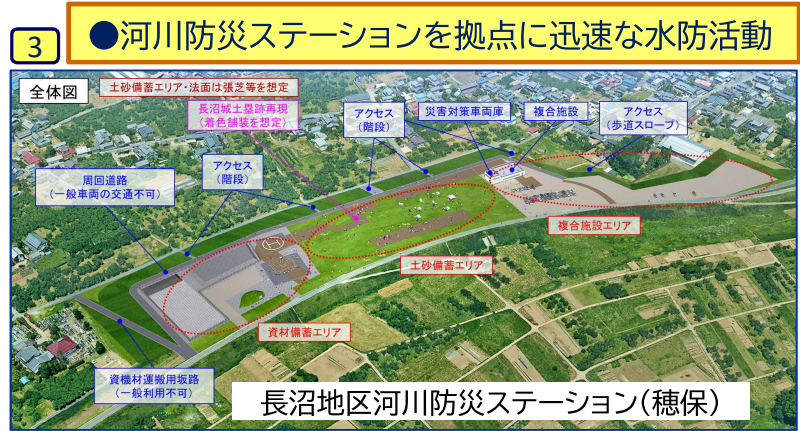
1



2



3



## 2 経過

日付	事項
R元年10月13日	令和元年東日本台風災害 発災
R2年1月31日	<ul style="list-style-type: none"><li>・同災害を踏まえ、流域の関係機関等による総合的な治水対策「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」公表</li><li>・長沼地区へ防災拠点となる「河川防災ステーション」位置付け</li></ul>
R2年12月	国が、千曲川立ヶ花～村山橋間の堤防強化対策工法を公表
R2年12月～R3年 3月	立ヶ花～村山橋間の左右岸の流域自治体による協議 (各自治体による緊急用道路整備について確認)
R3年4月～	国による堤防強化工事開始

## 3 目的

- 立ヶ花狭窄部の影響による水位上昇

中野市立ヶ花から上流の村山橋までの約8km区間は、洪水時に立ヶ花狭窄部の影響により水位が上昇し、越水等の現象が発生しやすい区間であり重点的な対策が必要

- 水位上昇を踏まえた治水対策

令和元年東日本台風による長沼及び豊野地区の大規模な浸水被害を踏まえ、国では千曲川立ヶ花から村山橋間の堤防強化工事に着手。

本市では、整備中の「長沼地区河川防災ステーション」を拠点とした緊急用道路を整備し、洪水時に迅速で確実な水防活動に資する。

## 4 事業内容

- 実施年度 令和4年度
- 事業名 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト
- 事業場所 小布施町飯田(下流)～長野市大字津野(上流)の千曲川左岸堤防
- 整備内容 道路築造：幅員3.0m、延長3.1km
- 事業費 43,000千円
- 財源 緊急防災・減災事業(充当率100%、交付税措置率70%)

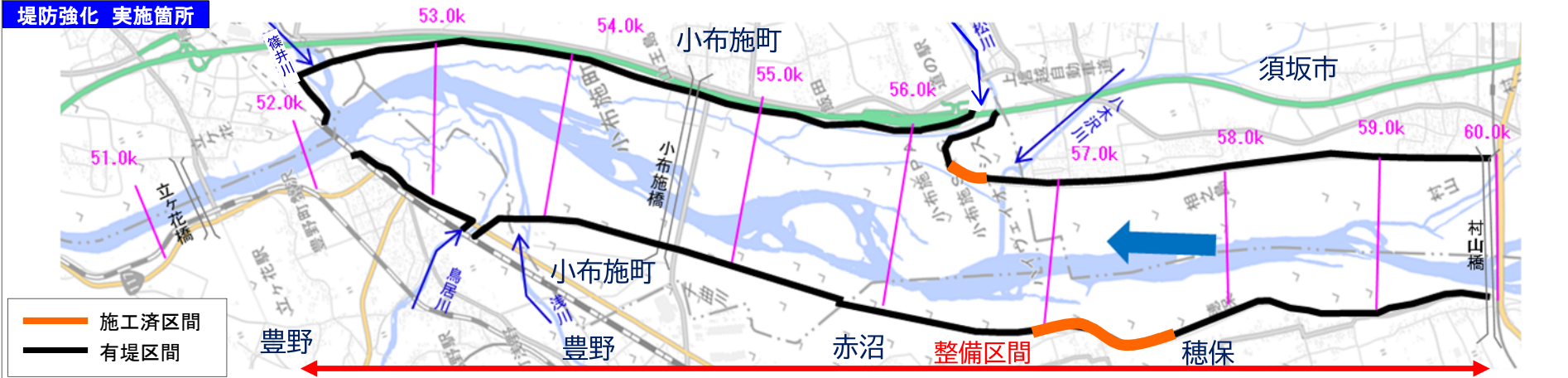
## 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

R3.9末時点

### 長野県中野市・長野・須坂市・小布施町: 堤防強化(立ヶ花～村山橋: 左右岸)の進捗状況について

- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、堤防強化対策を実施しています。
- 令和5年度の出水期までに整備を完了させる予定としています。

#### 堤防強化 実施箇所



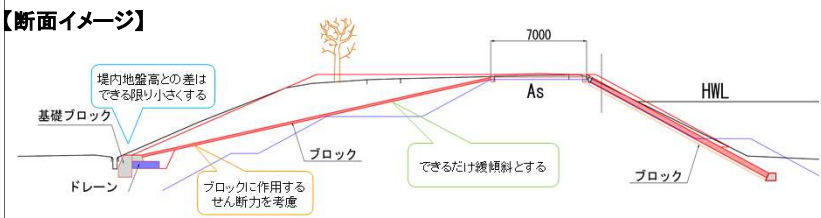
#### 位置図



#### 堤防強化 実施状況

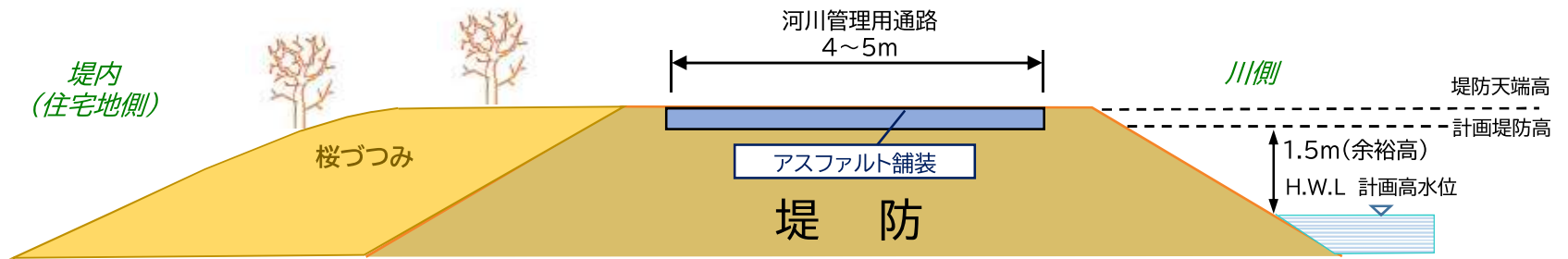


#### 【断面イメージ】



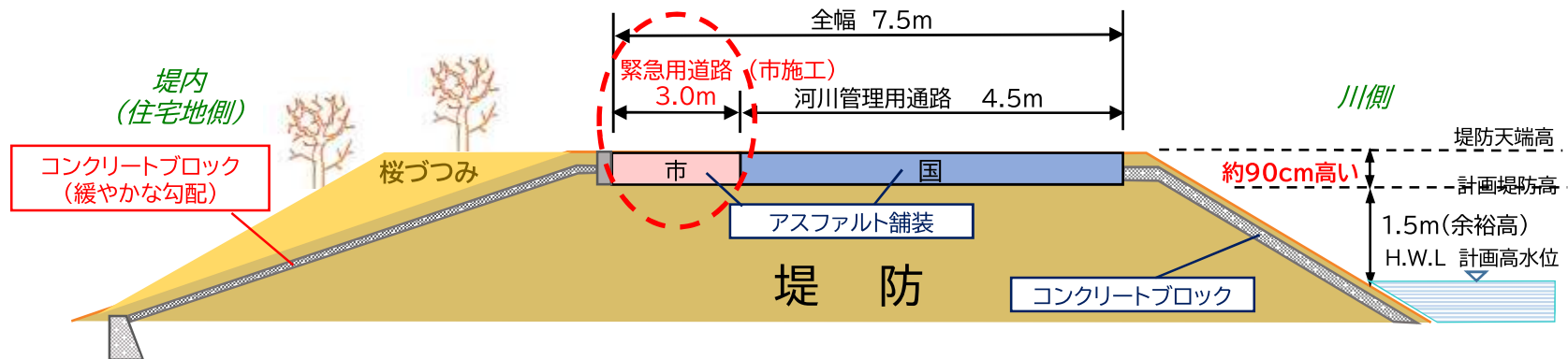
## 5 整備イメージ (小布施橋から上流)

従前



今回

●堤防強化工事に併せて、本市が緊急用道路を整備



【強化堤防の特徴】 ①全面被覆型の強靱な堤防 ②緩やかな勾配により越水による浸食を軽減

## 6 行政界の位置関係



令和3年8月14日の出水状況写真

## 7 小布施町地籍における整備理由

- 小布施町地籍の左岸堤内地に住居・事業所等が存在しない。
- 同区間において堤防決壊・越水が発生した場合、住居等の被害は豊野及び長沼地域となる。

## 8 整備メリット

### ●水防活動の円滑化

洪水時において、災害時の応急復旧を行う河川管理道路と、自治体が行う水防活動のための緊急用道路を併せて整備することで、十分な幅員が確保でき、相互の活動の円滑化が可能

### ●堤防高さの確保

左岸側堤防の一部区間においては、堤防強化に併せて県道(村山豊野停車場線)が整備され実質的な堤防高さは被災前に比べ、約90cm高くなる。

公平性の観点から、県道整備箇所以外の区間においても緊急用道路の整備により上下流、左右岸が県道高さと同等となる。

## 9 今後のスケジュール

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
堤防強化 (国)		工事		
緊急用道路 (市)	管理協定	工事		
河川防災 ステーション (国・市)		埋蔵文化財調査	工事	